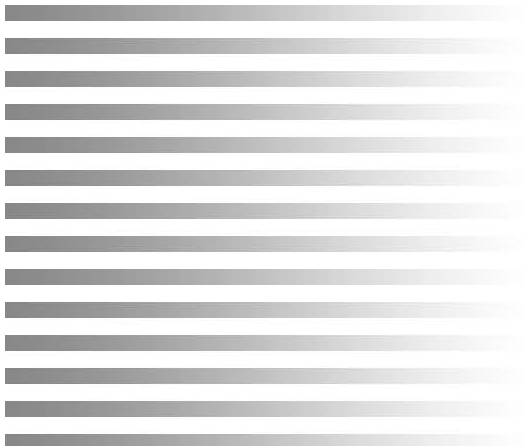


# **Systemwalker Centric Manager 13.0**



**Interstage**管理コンソールプラグイン説明書

---

# 目次

第1章 概要 .....	1
1.1 プラグインの役割 .....	2
1.2 プラグインの動作 .....	3
第2章 導入手順 .....	4
2.1 インストール .....	5
第3章 使用方法 .....	6
3.1 統合コンソールを起動する .....	7
3.2 Interstage管理コンソール画面を起動する .....	8
3.3 サーバのInterstage管理コンソールの接続情報をカスタマイズする .....	10
付録A メッセージリファレンス／保守 .....	12
A.1 [通知履歴]に表示されるメッセージ .....	12
A.2 保守情報の収集について .....	16

---

# まえがき

## 本書の目的

本書は、Systemwalker Centric Managerの統合コンソールに追加インストールする、Interstage管理コンソールプラグインについて説明しています。

なお、本書は、Solaris/Linux/Windows版を対象としています。

## 本書の読者

本書は、Systemwalker Centric Managerの統合コンソールに、Interstage管理コンソールプラグインを追加インストールして利用する方を対象としています。

本書をお読みになる前に、“Systemwalker Centric Manager 解説書”、及びInterstage Application Serverのマニュアルをお読みになり、統合コンソールとInterstage Application Serverの概要を理解しておくことが必要です。

## 略語表記について

- Microsoft® Windows Server™ 2003, Standard Edition、Microsoft® Windows Server™ 2003, Enterprise EditionおよびMicrosoft® Windows Server™ 2003, Datacenter Editionを“Windows Server™ 2003”と略しています。
- Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system、Microsoft® Windows® 2000 Server operating systemおよびMicrosoft® Windows® 2000 Advanced Server operating systemを“Windows® 2000”と略しています。
- Microsoft® Windows® XP ProfessionalおよびMicrosoft® Windows® XP Home Editionを“Windows® XP”と略しています。
- Solaris™ オペレーティングシステムを“Solaris”と略しています。
- Solaris、Linux上で動作するSystemwalker Centric Managerを、“UNIX版Systemwalker Centric Manager”または“UNIX版”と略しています。

## 輸出管理規制について

本ドキュメントを輸出または提供する場合は、外国為替および外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとり下さい。

平成18年 4月

改版履歴
------

平成18年 4月 初版
-------------

---

## 商標について

APC、PowerChuteは、AMERICAN POWER CONVERSION社の登録商標です。

ARCserveは、米国Computer Associates International, Inc. の登録商標です。

Ethernetは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

HP-UXは、米国Hewlett-Packard社の登録商標です。

IBM、AIX、AIX 5Lは、IBM Corporationの商標です。

Intel、Itaniumは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。

LaLaVoice は、株式会社東芝の商標です。

LANDeskは、米国およびその他の国におけるLANDesk Group, Ltdとその子会社の商標または登録商標です。

Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

MC/ServiceGuardは、Hewlett-Packard Companyの製品であり、著作権で保護されています。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Visual Basic、Visual C++およびMicrosoft Cluster Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

NEC、SmartVoiceは、日本電気株式会社の商標または登録商標です。

Netscape、Netscape の N および操舵輪のロゴ、Netscape Navigator、Netscape Communicatorは、米国およびその他の国における Netscape Communications Corporation 社の登録商標です。

Oracleは、米国ORACLE Corporationの登録商標です。

Palm、Palm OS、HotSyncは、PalmSource Inc. の商標です。

Red Hat、RPMおよびRed Hatをベースとしたすべての商標とロゴは、Red Hat, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Sun、Sun Microsystems、サンのロゴマーク、Sun/Solaris/Java に関連するすべての商標およびロゴマークは、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Sun、SunClusterは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

Symantec、Symantecロゴ、Norton AntiVirusは、SymantecCorporationの米国における登録商標です。

Tcl/Tkは、カリフォルニア大学、サン・マイクロシステムズ社、Scriptics社他が作成したフリーソフトです。

TRENDMICRO、Trend Micro Control Manager、Trend Virus Control System、TVCS、InterScan、ウイルスバスター、INTERSCAN VIRUSWALL、eManagerは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。

Turbolinux及びターボリナックスは、ターボリナックス株式会社の商標または登録商標です。

UNIXは、X/Openカンパニーリミテッドが独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

---

UXP、Systemwalker、Interstage、Symfowareは、富士通株式会社の商標です。  
VERITAS、VERITAS SOFTWARE、VERITAS ロゴ、VERITAS Cluster Serverおよび  
その他のVERITAS製品は、米国および各国のVERITAS Software Corporationの  
商標または登録商標です。

VirusScanおよびNetShieldは、米国Network Associates社および関連会社の  
商標または登録商標です。

Xiino、Palmscape、イリンクスは、株式会社イリンクスの商標です。

その他の製品名は、各社の商標または登録商標です。

Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

All Rights Reserved, Copyright © 富士通株式会社 1995-2006

All Rights Reserved, Copyright © 株式会社PFU 1995-2006

Portions Copyright © Contributors to ISODE Project

Portions Copyright © 1983-1994 Novell, Inc., All Rights Reserved.

JavaChart™ Copyright © 1996-1997 Visual Engineering, Inc. All Rights  
Reserved

HashJava GNU Library General Public License

Portions © 1994-1996 Attachmate Corporation. All Rights Reserved.

---

## 本書の構成

本書は、1章～3章および付録から構成されています。本書は、1章から3章を順にお読みください。付録は必要に応じてお読みください。

### 第1章 概要

Interstage管理コンソールプラグインの概要について説明します。

### 第2章 導入手順

Interstage管理コンソールプラグインの導入手順について説明します。

### 第3章 使用方法

Interstage管理コンソールプラグインの使用方法について説明します。

### 付録A メッセージリファレンス

Interstage管理コンソールプラグインが出力するメッセージについて説明します。

## 本書の読み方

### マニュアルの記号について

マニュアルでは以下の記号を使用しています。



**注意**

特に注意が必要な事項を説明しています。



**ポイント**

知っておくと便利な情報を説明しています。

---

# 第1章 概要

本章では、Interstage管理コンソールプラグインの概要を説明します。

## 1.1 プラグインの役割

Interstage管理コンソールプラグインは、Systemwalker Centric Managerの統合コンソールから、Interstage管理コンソール画面を起動する為のプラグインです。

本プラグインを統合コンソールに追加インストールすることで、接続先サーバの情報を入力することなく、統合コンソールからInterstage管理コンソール画面（ログオン画面）を起動することが出来ます。



### 注意

接続先のサーバでInterstage管理コンソールを使用するためのサービスが起動されていない場合、Interstage管理コンソール画面のブラウザは起動されますがログイン画面は表示されません。

接続先のサーバでInterstage管理コンソールを使用するためのサービスが運用されているかを確認願います。詳細は、「Interstage Application Server 運用ガイド」で、Interstage管理コンソールの起動についての説明を参照願います。



## 1.2 プラグインの動作

Interstage管理コンソールプラグインをインストールすると、統合コンソールのランチャーに、「Interstage」 - 「Interstage管理コンソール」が追加され、統合コンソールからInterstage管理コンソール画面が起動できるようになります。

統合コンソールからInterstage管理コンソール画面を起動する際には、統合コンソールが保持しているサーバの構成情報を、Interstage管理コンソール画面に受け渡して起動します。

統合コンソールから起動されたInterstage管理コンソール画面は、統合コンソールから渡される構成情報を利用して、Interstage Application Serverのサーバに接続します。



### ポイント

Interstage管理コンソールとの通信形態、および、ポート番号は、接続先サーバでの設定に合わせて、Systemwalkerコンソール設定します。

設定方法については、「3.3 サーバのInterstage管理コンソールの接続情報をカスタマイズする」を参照してください。

---

## 第2章 導入手順

本章では、Interstage管理コンソールプラグインの導入手順について説明します。

## 2.1 インストール

以下の手順でInterstage管理コンソールプラグインをインストールします。

1. Systemwalker技術情報ホームページのSystemwalker Centric Manager 統合コンソールプラグイン一覧から、Interstage管理コンソールプラグインをダウンロードします。
2. Interstage管理コンソールプラグインに添付されている、適用手順書 (readme.txt) に従って適用します。

---

## 第3章 使用方法

本章では、統合コンソールから、Interstage管理コンソールを起動する手順について説明します。

また、接続先サーバのInterstage管理コンソールの接続情報（通信形態およびポート番号）についても説明します。

## 3.1 統合コンソールを起動する

以下の手順で統合コンソールを起動します。

1. Systemwalker Centric Managerの「Systemwalker コンソール」を起動します。
2. 監視マップで、Interstage管理コンソール画面を接続したいサーバを選択します。
3. 右クリックで表示されるポップアップメニューから、「操作」－「統合コンソール」、またはメニューから「操作」－「指定オブジェクト」－「統合コンソール」を実行し、統合コンソールを起動します。

The screenshot shows the Systemwalker console window. The main area displays a network map with three Win 2000 servers connected to a central AP server and a business server. A context menu is open over the AP server, with the '操作(T)' (Action) option selected, which has opened a sub-menu where '統合コンソール' (Integrated Console) is highlighted.

番号	状態	属性	種別	日時	フォルダ	表示名
31	成功	一般	システム	2006/02/25 11:36:52	TEST\*自部門\10.34.200.0	運用管理サーバ: is-cptrh
32	警告	一般	システム	2006/02/25 14:15:12	TEST\*自部門\10.34.200.0	運用管理サーバ: is-cptrh
33	成功	一般	システム	2006/02/27 11:36:52	TEST\*自部門\10.34.200.0	運用管理サーバ: is-cptrh
34	警告	一般	システム	2006/02/27 13:39:28	TEST\*自部門\10.34.200.0	運用管理サーバ: is-cptrh

表示名=業務サーバ、ホスト名=apserver、IPアドレス=10.34.200.231



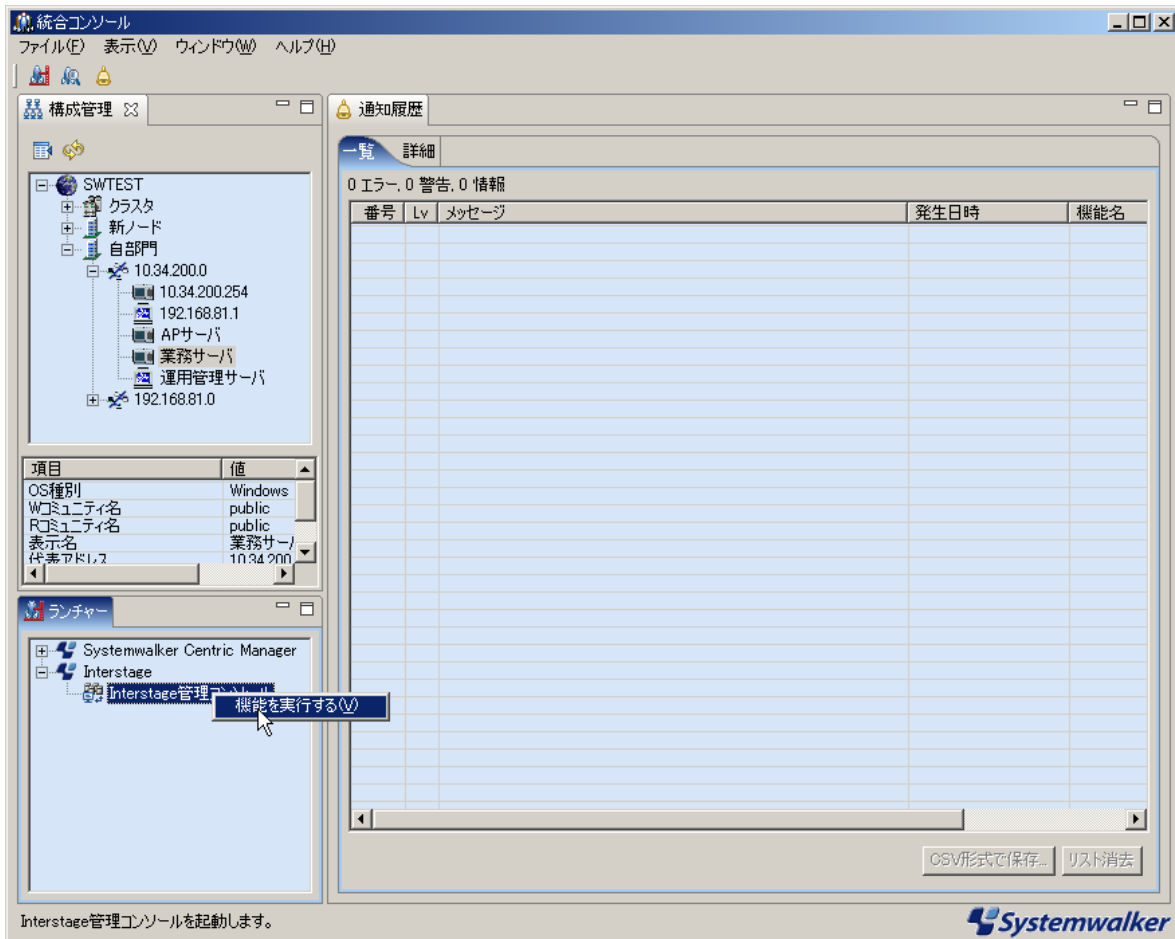
Interstage管理コンソールとの通信形態、および、ポート番号は、接続先サーバでの設定に合わせて、Systemwalkerコンソール設定します。

設定方法については、「3.3 サーバのInterstage管理コンソールの接続情報をカスタマイズする」を参照してください。

## 3.2 Interstage管理コンソール画面を起動する

以下の手順で、Interstage管理コンソール画面を起動します。

1. 統合コンソールの構成管理画面で、Interstage管理コンソール画面を接続したいサーバが選択されているか確認します。接続したいサーバが選択されていない場合には、構成管理画面のツリーで、接続先のサーバを選択します。
2. 統合コンソールのランチャーから、「Interstage」 - 「Interstage管理コンソール」を選択し、右クリックで表示されるポップアップメニューから「機能を実行する」を実行し、Interstage管理コンソール画面を起動します。



3. 起動されるInterstage管理コンソールのログイン画面でログインし、Interstage管理コンソールの操作を行ってください。

起動されたInterstage管理コンソールの操作については、Interstage管理コンソールのヘルプを参照してください。

### 3.2 Interstage管理コンソール画面を起動する



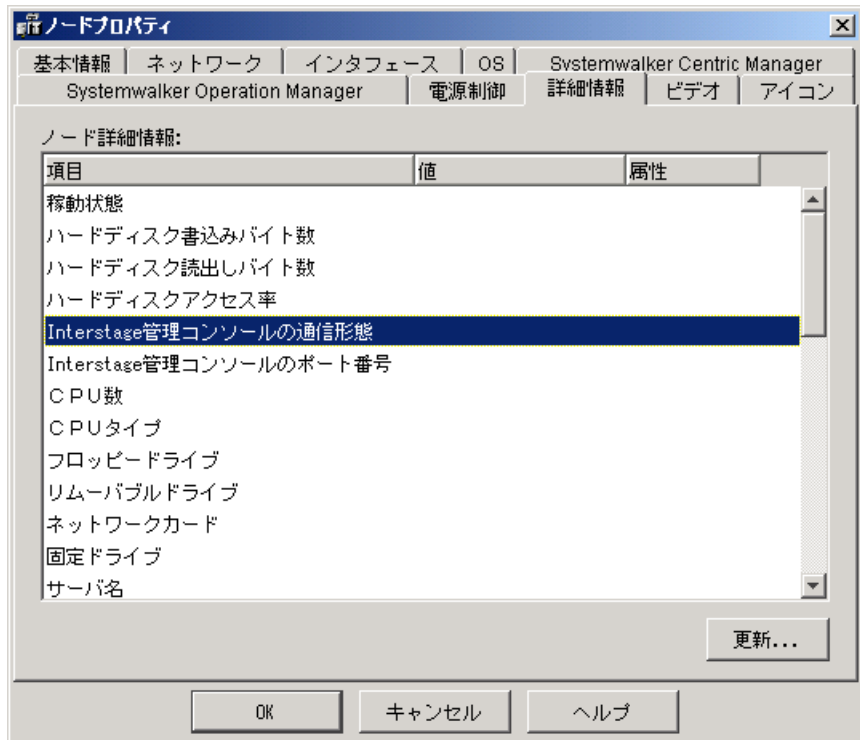
### 3.3 サーバのInterstage管理コンソールの接続情報をカスタマイズする

以下の手順で、接続先サーバのInterstage管理コンソールの接続情報（通信形態およびポート番号）をカスタマイズできます。

接続先のサーバのInterstage管理コンソールの設定状況に合わせて設定してください。設定がない場合は、通信形態は“http”、ポート番号は“12000”のデフォルトの設定で接続を実施します。

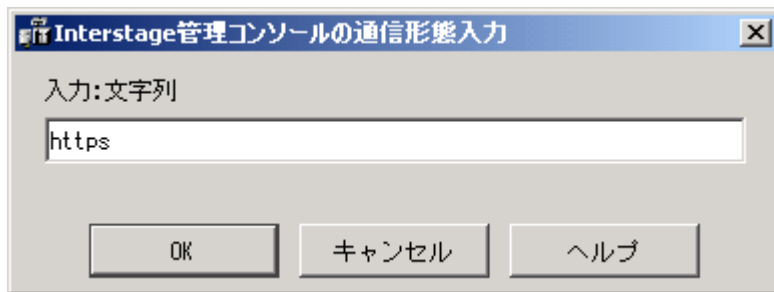
接続先のサーバの設定と合っていない場合、Interstage管理コンソール画面が表示できません。

1. Systemwalker コンソールを起動し、更新権を持ち、「ノード一覧」ツリーの使用権を持つユーザでログインします。
2. Systemwalker コンソールの「機能選択」で「編集」を選択します。
3. 「ツリー選択」で、「ノード一覧」を選択します。
4. 「監視マップ」で、Interstage Application Server がインストールされているノードを選択し、「オブジェクト」－「プロパティ」メニューを実行して、「ノードプロパティ」画面を表示します。
5. 「ノードプロパティ」画面で「詳細情報」タブを選択します。
6. 「ノード詳細情報」から「Interstage 管理コンソールの通信形態」を選択します。（ポート番号を設定したい場合は、「Interstage 管理コンソールのポート番号」を選択します。）

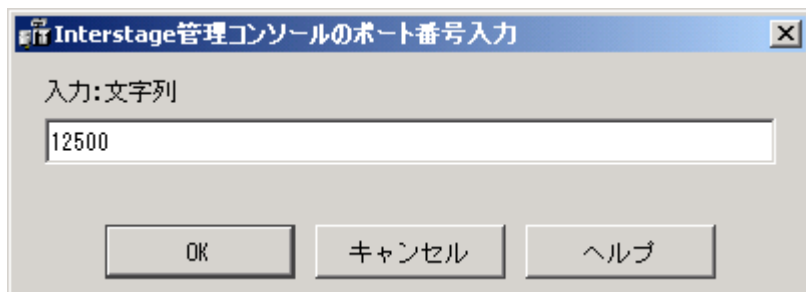




7. 「更新」ボタンを押して、「Interstage 管理コンソールの通信形態入力」画面を表示します。(6. で「Interstage 管理コンソールのポート番号」を選択している場合には、「Interstage 管理コンソールのポート番号入力」画面が表示されます。)
8. 「Interstage 管理コンソールの通信形態入力」画面で、Interstage 管理コンソールの接続形態 (https または http) を入力し、「OK」ボタンを押します。  
注) https以外の値を入力した場合、または値を入力していない場合、統合コンソールからInterstage管理コンソールの起動した時の通信形態はhttpが使用されます。なお、httpsを使用する場合は、接続先サーバでSSL暗号化通信を使用する設定をする必要があります。詳細は、「Interstage Application Server運用ガイド」の「Interstage管理コンソール動作環境のカスタマイズ」の説明を参照してください。



9. 「Interstage 管理コンソールのポート番号入力」画面で、Interstage 管理コンソールのポート番号を入力し、「OK」ボタンを押します。  
注) 有効な半角数値(0~65535)以外を入力した場合、または値を入力していない場合、統合コンソールからInterstage管理コンソールの起動した時のポート番号は12000が使用されます。



10. 「ノードプロパティ」画面で、「OK」ボタンを押し、「ノードプロパティ」画面を終了します。

## 付録A メッセージリファレンス／保守

### A.1 【通知履歴】に表示されるメッセージ

◆ **メッセージテキスト (UNIX版・Windows版共通)**

Interstage管理コンソールプラグインの初期化に失敗しました。

**【メッセージの意味】**

Interstage管理コンソールプラグインの初期化で異常が発生しました。

**【パラメタの意味】**

なし。

**【システムの処理】**

Interstage管理コンソールのラUNCH処理を中止します。

**【対処方法】**

**[対処]**

「A.2 保守情報の収集方法について」を参照して保守情報を採取し、[詳細]タブの情報を控え、技術員に連絡してください。

**【原因】**

プラグインの実行ファイルが壊れている可能性があります。

◆ **メッセージテキスト (UNIX版・Windows版共通)**

Interstage管理コンソールの起動に失敗しました。

以降、[詳細]タブの詳細メッセージごとに記述します。

• **詳細メッセージテキスト (UNIX版・Windows版共通)**

サーバが選択されていません。

**【メッセージの意味】**

対象のサーバが選択されていません。

**【パラメタの意味】**

なし。

**【システムの処理】**

Interstage管理コンソールのラUNCH処理を中止します。

**【対処方法】**

**【確認ポイント】**

統合コンソールの構成管理でサーバが選択されていることを確認する。

**【対処】**

統合コンソールでサーバを選択後、Interstage管理コンソールのラUNCH操作を実施してください。

**【原因】**

接続先のサーバが選択されていないため、Interstage管理コンソールのラUNCHができませんでした。

• **詳細メッセージテキスト (UNIX版・Windows版共通)**

**内部インタフェース異常が発生しました。**

**【メッセージの意味】**

内部インタフェース異常が発生しました。

**【パラメタの意味】**

なし。

**【システムの処理】**

Interstage管理コンソールのラUNCH処理を中止します。

**【対処方法】**

**【対処】**

「A.2 保守情報の収集方法について」を参照して保守情報を採取し、[詳細]タブの情報を控え、技術員に連絡してください。

**【原因】**

システムの異常が考えられます。

• **詳細メッセージテキスト (UNIX版・Windows版共通)**

**ブラウザが存在しません。**

**【メッセージの意味】**

OSのデフォルトのブラウザがインストールされていません。  
または、OSで拡張子『.html』に正しいプログラムが設定されていません。

**【パラメタの意味】**

なし。

**【システムの処理】**

Interstage管理コンソールのラUNCH処理を中止します。

**【対処方法】**

**[確認ポイント]**

OSのデフォルトのブラウザが起動できることを確認してください。

**[対処]**

Interstage管理コンソールを使用するためのブラウザをインストールしてください。

**【原因】**

OSにデフォルトのブラウザが設定されていないことが考えられます。

• **詳細メッセージテキスト (UNIX版・Windows版共通)**

**ブラウザの起動で異常が発生しました。**

**【メッセージの意味】**

ブラウザの起動で異常が発生しました。

**【パラメタの意味】**

なし。

**【システムの処理】**

Interstage管理コンソールのラUNCH処理を中止します。

**【対処方法】****【確認ポイント】**

OSのデフォルトのブラウザが起動できることを確認してください。

**【対処】**

ブラウザが起動できるか確認してください。

起動できない場合は、起動できるように設定してください。

起動できる場合は、「A.2 保守情報の収集方法について」を参照して保守情報を採取し、[詳細]タブの情報を控え、技術員に連絡してください。

**【原因】**

ブラウザの設定の異常、資源不足などが考えられます。

**• 詳細メッセージテキスト (UNIX版・Windows版共通)**

<b>IPアドレス、または、ポート番号の形式に誤りがあります。</b>
-------------------------------------

**【メッセージの意味】**

指定されたIPアドレス、または、ポート番号の形式に誤りがあります。

**【パラメタの意味】**

なし。

**【システムの処理】**

Interstage管理コンソールのラUNCH処理を中止します。

**【対処方法】****【確認ポイント】**

接続先のIPアドレス、および、ポート番号の形式が正しいか確認してください。ポート番号は、「3.3 サーバのInterstage管理コンソールの接続情報をカスタマイズする」の手順で設定したポート番号です。

**【対処】**

対象サーバの情報として設定した、IPアドレス、および、ポート番号の内容を確認してください。

設定内容に誤りがない場合は、「A.2 保守情報の収集方法について」を参照して保守情報を採取し、[詳細]タブの情報を控え、技術員に連絡してください。

**【原因】**

IPアドレス、ポート番号の設定が誤っている可能性があります。

## A.2 保守情報の収集方法について

本プラグイン、及び統合コンソールの機能で発生したトラブルに対し、原因がわからない場合には、Systemwalker Centric Managerの「保守情報収集ツール」を使用して、収集した情報を技術員に送付してください。

「保守情報収集ツール」の使用方法については、Systemwalker Centric Managerの「メッセージ説明書」に記載されている、「保守情報の収集方法」を参照してください。